

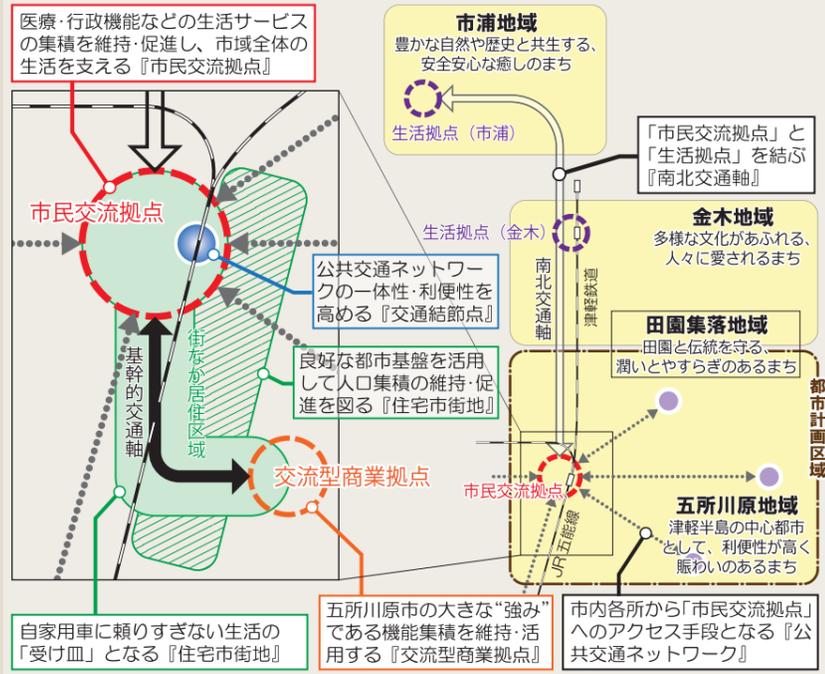
『五所川原市立地適正化計画』を策定・公表します

市では、人口減少や高齢化が見込まれる中であっても市民が安心して暮らし続けられるように、徒歩や公共交通などでアクセスしやすい拠点に都市機能を維持・誘導し、市域全体に効率的に生活サービスを提供するとともに、地域公共交通の再編と連携したまちづくり方針を示す「五所川原市立地適正化計画」を策定し、3月29日(金)に公表します。

計画内容の詳細については、市のホームページまたは都市計画課の窓口でご確認できます。

目指すべき都市構造

- 「市民交流拠点」「交流型商業拠点」を形成・維持するとともに、拠点間をつなぐ「基幹的交通軸」を形成・強化
- 自家用車に頼りすぎない生活の「受け皿」となる「住宅市街地」、良好な都市基盤を活用して人口集積の維持・促進を図る「住宅市街地」の形成を推進
- 市浦・金木地域の中心部を地域の「生活拠点」として位置づけ、「南北交通軸」の持続性を向上
- 市内各所から「市民交流拠点」へのアクセス手段となる公共交通ネットワークの維持、一体性・利便性の向上などにより、市域全体の生活を支える都市構造を構築



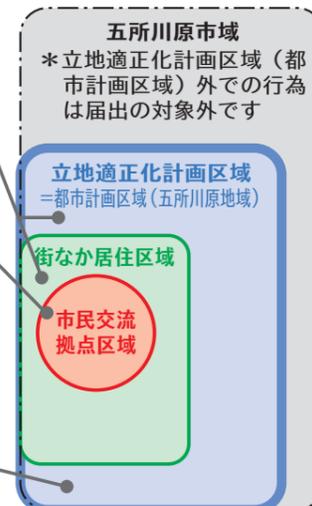
3月29日(金)より立地適正化計画『届出制度』が始まります

五所川原市立地適正化計画の公表に伴い、3月29日(金)より『届出制度』が始まります。届出制度開始後は、都市計画区域（五所川原地域）内の対象区域で下記の行為等を行う場合には、着手する日の30日前までに市に届出が必要となりますのでご注意ください。なお、都市計画区域外（金木地域・市浦地域）で行う行為等については、届出の対象外となります。対象区域の範囲および届出様式等については、市のホームページまたは都市計画課の窓口でご確認いただけます。

ご不明な点等がありましたら、都市計画課までお問い合わせください。

届出の対象となる区域および行為

対象区域	対象行為
市民交流拠点区域外	開発行為 「誘導施設」を有する建築物の建築を目的とする開発行為 建築行為等 ①「誘導施設」を有する建築物を新築しようとする場合 ②建築物を改築し、または建築物の用途を変更して「誘導施設」を有する建築物とする場合
市民交流拠点区域内	市民交流拠点区域内に立地する「誘導施設」を休止または廃止しようとする場合
街なか居住区域外	開発行為 ①3戸以上の住宅の建築を目的とする開発行為 ②1戸または2戸の住宅の建築を目的とする開発行為で、その規模が1,000㎡以上のもの 建築行為等 ①3戸以上の住宅を新築しようとする場合 ②建築物を改築し、または建築物の用途を変更して3戸以上の住宅とする場合



届出の対象となる「誘導施設」

誘導施設	概要
①医療施設	病院、一般診療所（* 歯科医業のみを除く）
②福祉施設	地域包括支援センター、保健センター
③文化施設等	市全域や広域からの利用が想定される文化施設・交流施設（例：公民館、図書館など）
④行政施設等	市民を対象とした窓口を有し、市全域や広域からの利用が想定される行政施設等（例：市庁舎、国・県の機関、郵便局、金融機関など）
⑤交通拠点施設	「交通拠点」としての機能を有する施設（例：鉄道駅舎、バスターミナルなど）

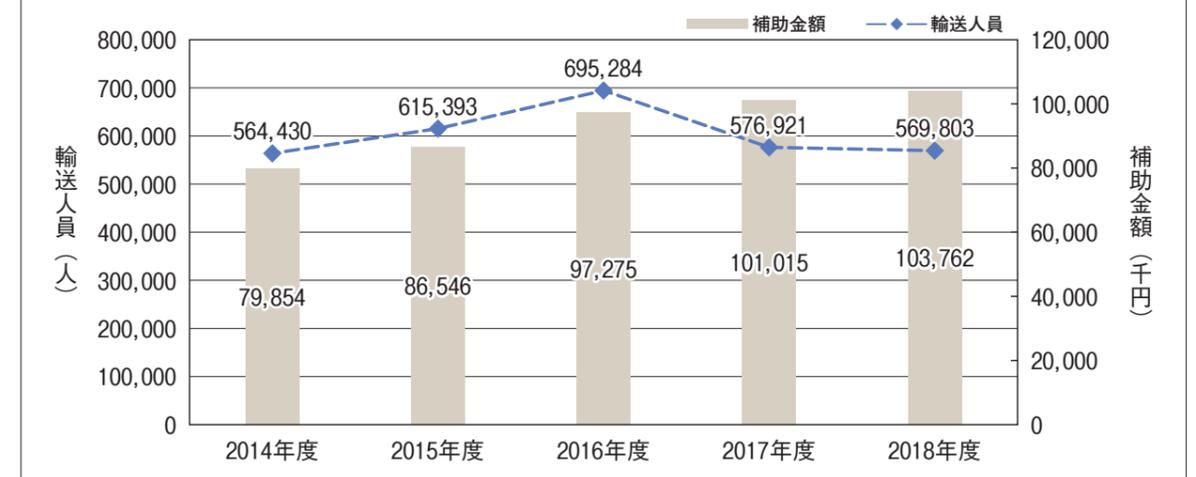
地域公共交通のあり方に関する懇談会を開催します

市では、人口減少の進行および高齢化に伴う交通需要の多様化など、社会環境の変化に対応した持続可能な公共交通体系の再構築に向けて、市域全体において公共交通の再編事業を進めていく方針です。「生活の足」を担う路線バスは、近年利用者数は伸び悩む一方で、路線を維持するための市の補助金額は増加傾向にあり、さらに乗務員の人手不足等さまざまな課題を抱えている状況です（下図参照）。こうしたことから、地域住民の皆さんと公共交通の現状および課題を共有しながら、地域の需要に即した今後の公共交通のあり方を話し合う懇談会を下記のとおり開催しますので、多数のご来場をお待ちしています。

対象地区	開催日時	会場	地区内を運行する再編対象バス路線
飯詰地区	4月9日(火) 18:00～	コミュニティセンター飯詰	飯詰能開短大環状線
長橋地区	4月10日(水) 18:00～	コミュニティセンター長橋	飯詰能開短大環状線、高野環状線
梅沢地区	4月11日(木) 18:00～	梅沢コミュニティセンター	高野環状線
七和地区	4月12日(金) 18:00～	七和福祉プラザ	高野環状線

- * 事前のお申し込みは必要ありません。
- * 他の地区も、順次開催予定です。
- * ご不明な点等がありましたら、都市計画課までお問い合わせください。

図 直近5年間の市内路線バスの年間輸送人員および市補助金額の推移



問…都市計画課 内線2634



通学に津軽鉄道を使いましょう 問 津軽鉄道株式会社 TEL34-2148

通学に津軽鉄道を使いませんか。汽車通学には送迎での運転時間短縮や雪道運転からの開放、さらには渋滞の緩和やお子さんの健康増進など、様々なメリットがあります。今春からの通学に津軽鉄道をぜひ、ご利用ください。（参考：津軽五所川原駅～金木駅間 14,400円/月）

乗って応援!! みんなの津軽鉄道	
平成30年度目標乗車人数	300,000人
平成31年1月までの乗車人数	158,865人
速報!! 平成31年2月の乗車人数	18,569人
目標達成まであと…	122,566人